



潮見小学校の児童が「花植え」を行いました

平成21年6月16日（火）、佐世保市潮見町の国道35号潮見交差点付近で、潮見小学校の児童204名による花植え作業が行われました。

「子どもたちに“道を大切にできる気持ち”を育てていきたい」との思いから、平成17年11月より潮見小学校と地域の方及び国土交通省で協力して実施しています。潮見交差点付近の植栽帯では、潮見小学校の児童に体験ボランティアとして花植えを行って頂いています。毎年、児童たちが学校で種から花苗を育て、植栽帯に植え替えています。今年も種から育てた花苗1270本を植栽帯に植えていきました。



※今回植栽帯に植えた花苗は、すべて潮見小学校の児童が種から育ててくれたものです。

長畑交差点～川棚町境で道路点検

平成21年6月16日（火）、佐世保市長畑町の国道205号長畑交差点から川棚町境までの1.3kmの区間で道路点検が行われました。

この区間の道路は、小中学校の通学路でありながら歩道が整備されておらず、過去5年間で21件の車両事故も起こっていることから、地域住民や学校関係者から改善要望が出ていました。

この日、自治会長や学校関係者、警察署、行政関係者など約20名が現地を歩き、道路点検を行いました。一部、路肩が1.5m程度と狭くなっている箇所もあり、歩行者にとって非常に危険な道路であることを身をもって体験しました。

道路点検の後、会議室で現状の問題点や今後の歩道整備について話し合いました。学校関係者からは、現在の道路は防護柵もなく小中学生が安心して登下校できない、自治会長からは歩道整備に向けて用地確保等積極的にバックアップしていくなどの意見が出されました。これらの意見を踏まえて、道路管理者である行政からは、地域の声にできるだけ早く応えるために、歩道整備に向けて検討していくという回答を得られました。

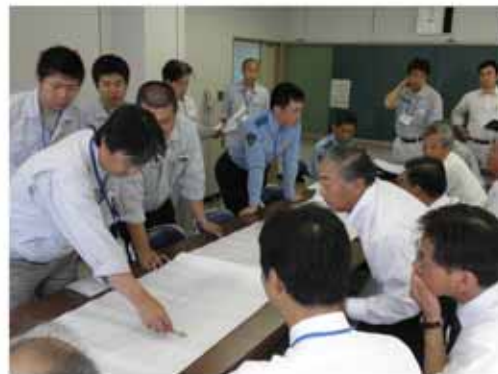
今後も、地域住民や学校、警察、行政合同で合意形成を図りながら、誰もが安全で快適に利用できる道路づくりを進めていきたいと思えます。



【子どもたちは、こんなに狭い路肩を通学路として利用しています。】



【写真中央・右：道路点検を踏まえての意見交換会
さまざまな立場の方から意見が出され、活発な議論が交わされました。】



雲仙市千々石町で花植え作業

平成21年6月26日（金）に雲仙市千々石町で、ボランティア団体「千々石町花いっぱい運動推進協議会」（城臺安友 会長）の方々が国道57号の植樹帯に花の苗を植えました。

国道57号沿線の雲仙市千々石町は、「日本の白砂青松 100 選」に選ばれた千々石海岸や「日本の棚田 100 選」の石積みによる棚田などの美しい風景があり、ギネス認定された橋神社の大門松は千々石町の観光の目玉となっています。

「千々石町花いっぱい運動推進協議会」は、千々石町内の各地区老人会が集まって結成されたボランティア団体で、110名の会員の方々が道路の清掃や花植えなどまちの美化活動を行い、美しく住みよいまちづくりを進めています。夏の観光シーズンを控え、きれいに彩られたこの道を通る観光客の目を喜ばせてくれそうです。



【まずは土ならし】



【植え替え作業から後片付けまで、とても丁寧にやってきました。国道沿いがきれいな花で彩られ、地域の方も喜んでいます。】

☀️ 国道沿いでヒマワリを育てています ☀️

国土交通省長崎河川国道事務所佐世保国道維持出張所では、事務所前の歩道で花を育てています。『佐世保地区のボランティアを応援しています』と言うだけでなく、『職員も何かしらボランティアをしよう』というボランティア担当職員さんの呼びかけで、5年ほど前から歩道の緑化活動を行っています。

毎年今の時期はアサガオを植えていましたが、今年はヒマワリも植えています。130本以上のヒマワリが植わっています。出張所の皆さんで、毎日昼休みに草むしりをしたり、夕方は水遣りをしたりして育て、今では高さが2m近くあるそうです。

夏に大きなヒマワリの花が咲くのが楽しみです！開花の報告をお楽しみに★



【4月27日】土を耕すところからスタート！

【6月24日】高さが60cmほどになり支柱を立てました。フェンス側はアサガオです。

【7月7日】職員さんたちの熱心な手入れで、こんなに大きく育ってます。

★皆様の活動情報をお寄せ下さい★

「道守長崎通信」では、多くの皆様のボランティア活動を紹介したいと考えております。皆様の活動をお手本にしたり、参考にしたりして新たな活動が生まれます。新たな活動が美しい道路づくり・地域づくりにつながります。また、皆様の活動に励まされ「自分たちも頑張ろう！」という意欲も沸いてきます。どんな小さなことでも構いませんので、皆様の活動を教えて頂ければと思います。

活動情報をお持ちの方は、**写真と簡単なコメント**を添えて、下記住所まで送付してください。ひとまず電話で構いませんのでご連絡下さい。皆様からの情報をお待ちしております。ドシドシお寄せ下さい！

お問い合わせ
情報送付先

【道守長崎会議広報担当】国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所 調査第二課 沼野・浦田
住所：〒851-0121 長崎市宿町 316 番地 1
TEL：095-839-9861 FAX：095-839-9648 E-mail：numano-t8910@qsr.mlit.go.jp

～長崎街道を活かしたまちづくりシンポジウム～

平成21年7月7日（火）、長崎市桜馬場で「長崎街道を活かしたまちづくりシンポジウム～国道34号道路空間改善に向けて～」が開催されました。

7月7日は、長崎で活躍したシーボルトが長崎街道を通して江戸参府から戻ってきた日であり、会場となった地域は、かつてシーボルトが西洋医学や科学を教授した鳴滝塾があった場所なのです。この日、この地域で、「長崎街道」をテーマにシンポジウムを行うということに大きな意味がありました。また、今回のシンポジウムを主催したのが5月に設立したばかりの“NPO道守長崎”で、このシンポジウムが活動のスタートになったという点においても大変意味のあるシンポジウムとなりました。



【シンポジウムを主催した『NPO 道守長崎』の阿野理事長。5月にNPOを設立し、活動の幅が広がっています。】



【長崎史の第一人者“越中先生”】

さて、シンポジウムには、道守、地域の自治会長さんたち、歴史研究家、大学教授、建築家、長崎街道を盛り上げるべく活動しているNPO、商工会、JR、路面電車の運営会社、行政関係者など“歴史を活かしたまちづくり”、“住みやすい・観光しやすいまちづくり”について議論するため、様々な分野から約80名が参加しました。

はじめに、長崎県民なら誰もが知っている長崎史研究家の越中（えっちゅう）先生に長崎街道の歴史について講演して頂きました。当時の風景や様子を描いた資料を用いて、歴史の深さ、歴史を活用する楽しさを、冗談も交えながらおもしろくお話して頂きました。

次に、長崎総合科学大学の林一馬教授、建築家の鉄川進さん、連合自治会の針屋会長、NPO長崎街道松並復元会の執行理事長、シュガーロードの取り組みを進めている長崎市の池田次長にパネルディスカッションをして頂き、まちづくりのヒントを与えて頂きました。

パネルディスカッションでは次のようなご意見を頂きました。

- 長崎街道沿線の各地域には各々活動している団体があるので、それらを繋いでいくことが大切。
- 地域住民が主体となって、企業や行政と協働で楽しみながら活動していくと、人の輪が広がり長く続く。
- 中核都市にはめずらしく、活気のある商店街がいくつか残っている。この地域も元気な地域の一つ。観光客や市外からの買い物客などが回遊できるように、交通の結節点を改良していくことが重要。
- 地域住民の意見として、誰もが安全で快適に生活できるよう、路面電車停留所のバリアフリー化を進めていきたい。
- 観光客は『本物』を求めているので、迎える側はニーズに応えるような取り組みを進めていく必要がある。



【パネリストの皆さん】

最後に、参加者が2班に分かれて『新大工地区のまちづくり』、『長崎街道を活かしたまちづくり』というテーマで、それぞれワークショップを行いました。パネリストの先生方の取り組みを聞いたり、まちづくりのヒントを教えて頂いたりしたので、参加者の皆さんは夢がふくらみ、たくさんの意見が出されました。



【「まずは長崎街道を歩いてみよう」とか「もっとPRしよう」などの意見が出ました。】

「小浜温泉57」が国土交通行政功労表彰を受けました！

平成21年7月23日（木）、長崎河川国道事務所で「平成21年度国土交通行政功労表彰式」が行われました。この表彰は、国土交通行政の円滑な推進に功績のあった団体及び個人に対して贈られるものです。今回、道路環境の保全美化に貢献したとして、団体の部で『小浜温泉57』が表彰されました。



【感謝状を贈呈される宮田代表】



【今年度表彰を受けた皆様で記念撮影】

『小浜温泉57』は、地域を美しく安全で快適な場所にして、観光客を“おもてなしの心”で迎えようとの想いから、地域住民とともに、小浜温泉街付近の国道57号や市道のゴミ拾い、花壇の管理、道路の危険箇所点検などを月に1～2回行っています。小浜温泉街のきれいな街並みは、このような地道な活動に支えられたものだと思います。温泉に入るついでに、小浜の美しいまちを散策してみてもいかがですか。

長崎街道松並復元

NPO 法人『長崎街道松並復元会』（執行利博代表）は、江戸時代の長崎街道の雰囲気を取り戻すべく、松並木復元や景観整備に取り組んでいます。

2008年1月から諫早、大村、東彼杵など約20カ所で、地域住民と協力して松の植樹を行っています。植樹といっても小さなポット苗ではなく2メートルほどの若木で、鳥居型の支柱や客土も施すという本格的な植樹のため、土を掘り起こすのに業者さんがショベルカーを出してくれたり、水遣りのために消防団まで出動してくれるという地元のバックアップのもと活動を進めています。

今年に入ってから、諫早市のNPO『ふれあいフレンド』（南条博代表）と協力して、諫早市久山町の旧茶屋の坂道に石畳を敷き、街道の復元作業を開始しました。路面電車の長崎電気軌道から中古の敷石を譲り受け、2ヶ月かけて完成させました。また、6月には諫早市久山町にある道路下を通るトンネル内に、長崎街道沿いの名所の壁画が描かれました。「たぬき絵」で知られる堤けんじさんが下絵を描き、地域の子どもたちが色を付けました。完成式には、約300人が出席し、江戸時代の衣装を身にまとい通り初めを行いました。

12月後半には、長崎市の日見峠で松の植樹を行う予定です。ご家族やお友達をお誘い合わせの上、是非ご参加ください。皆さんで美しい長崎街道をつくっていきましょう！



【松の植樹の様子】



【石畳の設置作業】

★★イベント予告★★

平成21年8月8日（土）、西九州自動車道佐世保中央ICで『100年の森植樹祭』を開催します。インターチェンジを周辺の景観にマッチした緑豊かなものにしようという試みです。人手の必要な作業となりますので、ボランティアの皆さまの積極的なご参加をお待ちしております！！

【日時】

8月8日（土）8：30～

【集合場所】

佐世保市民文化ホール
（住所：佐世保市平瀬町2番）

【植樹場所】

西九州自動車道佐世保中央IC

100年の森植樹祭
8月8日（土）AM8:30～

集合場所 市民文化ホール（佐世保市平瀬町2番）
植樹場所 西九州自動車道佐世保中央IC（九州文化学園跡地）

講演 宮崎 昭氏 福岡独立大名誉教授

参加費 無料

どんぐりを拾って森をつくらう！



お問い合わせ
・
情報送付先

【道守長崎会議広報担当】国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所 調査第二課 沼野・浦田
住所：〒851-0121 長崎市宿町 316 番地 1
TEL：095-839-9861 FAX：095-839-9648 E-mail：numano-t8910@qsr.mlit.go.jp